事故ゼロプラン〈事故危険区間重点解消作戦〉 新潟県版

事故を防ぐために！
交通事故対策の いろいろ

平成22年度より 事故ゼロプラン による交通事故対策を行っています！

新潟県の直轄国道で交通事故を削減するために行った様々な対策などにより、新潟県内の交通事故は、近年減少傾向にあります。

交通事故対策は、多種多様な方法の中から、事故の発生状況や道路の構造などを勘案し、その場所で最適と考えられる対策を行っています。

その中から、主に幹線道路で行っている一般的な交通事故対策について、ご紹介します。

＜交通事故対策の種類と目的＞

速度を抑制する
視覚・振動・音などの効果で車両のスピードを抑える。

ドットライン、段差舗装、減速マーク　など

注意を喚起する
危険な箇所であることをドライバーに認識させる。

カラー舗装、対向車接近表示システム、ランブルストリップス　など

道路を改良する
道路を改良して、交通の円滑化や視認性を向上させる。

右左折専用レーン、中央分離ゼブラ帯、右折分離ゼブラ帯　など

歩行者・自転車事故を防止する
歩道や自転車通行帯の整備や柵等の設置で事故を防止する。

自転車・歩行者道整備、横断防止柵、横断歩道・交差点カラー化　など

事故を減らすために
いろいろな事故対策
をしているんだね。

実際にどんな対策をしているのか
くわしく見てみましょう。

お問い合せ先
「道路安全性検討委員会」事務局
代表：国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 調査課 TEL:025-244-2159（代表）
■高田河川国道事務所　道路管理第二課
■羽越河川国道事務所　道路管理課
■長岡国道事務所　計画課

速度を抑制する

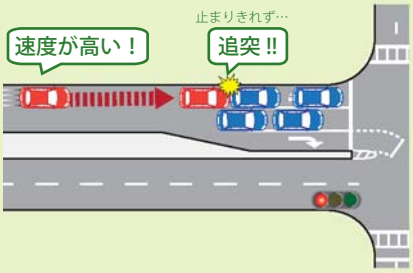
ドットライン

車線の内側に太い点線（ドットライン）を設置して車線を狭く見せることにより、ドライバーが車の速度を無意識に下げるようにする対策です。

国道 8 号藤崎集落～能生大橋西詰交差点

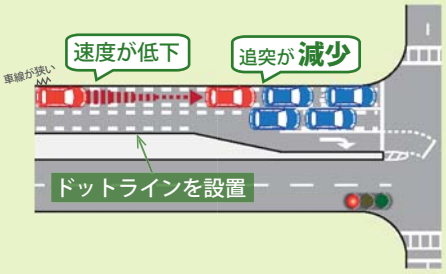
対策するのはどんな所？

車の速度が高いことで追突事故が多く発生している交差点など。



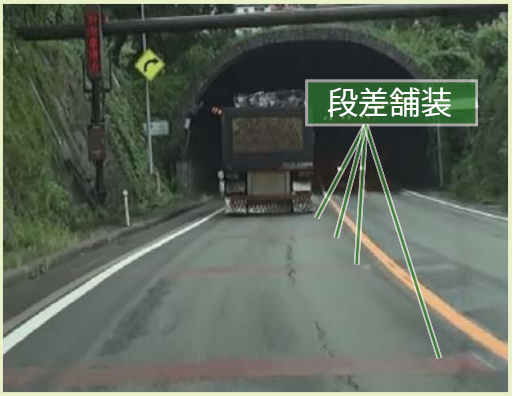
どんな効果があるの？

車の速度が下がり、事故の危険が少なくなります。



段差舗装

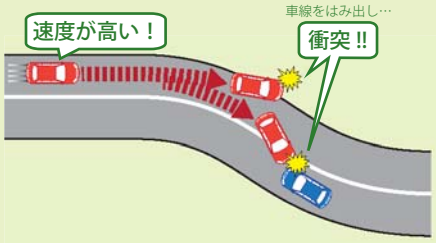
路面上に薄い層（凸型）を付け、車両へ音や振動を与える事で、ドライバーが車の速度を下げるようにする対策です。



国道 17 号南魚沼市石打地先

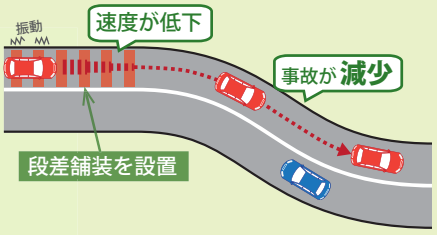
対策するのはどんな所？

車の速度が高いことで車線をはみ出す事故が多いカーブ区間など。音や振動が出るため、主に住宅の少ない山地部などに設置しています。



どんな効果があるの？

音や振動で車の速度が下がり、車線をはみ出す危険が少なくなります。



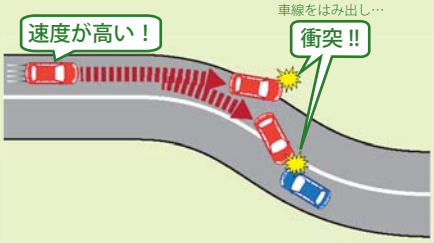
減速マーク

路面上にくの字型のラインを連続して設置し、視覚的に注意を促すとともに車両へ少しの振動を与える事で、ドライバーが車の速度を下げるようにする対策です。

国道 17 号南魚沼市浦佐跨線橋付近

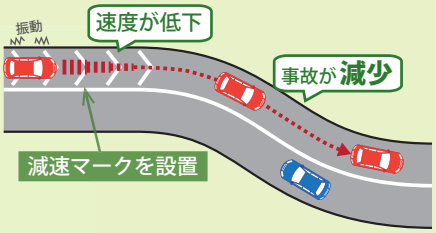
対策するのはどんな所？

車の速度が高いことで車線をはみ出す事故が多いカーブ区間など。主に郊外部のカーブ区間手前などに設置しています。



どんな効果があるの？

視覚的効果や少しの振動で車の速度が下がり、車線をはみ出す危険が少なくなります。



注意を喚起する

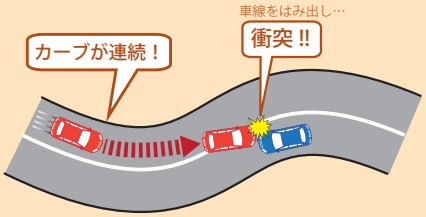
カラー舗装

事故が多発する箇所の路面に色を付けることで、ドライバーに対して注意を促し、危険を認識させる対策です。

国道７号村上市塩野町地区

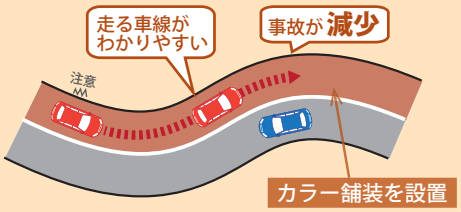
対策するのはどんな所？

右左折時の事故が多発している交差点や走行車線のわかりづらい連続カーブ区間など。



どんな効果があるの？

ドライバーが注意して通行するようになるため、右左折時の確認不足や車線のはみ出しなどが減少します。



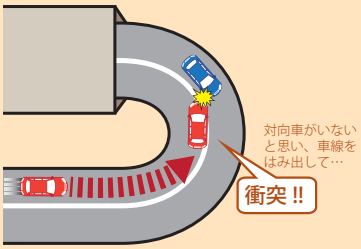
対向車接近表示システム

対向車の接近を自動的にセンサーで感知して、電光表示板により知らせ、注意を喚起する対策です。

国道８号糸魚川市浄土・先ヶ鼻洞門

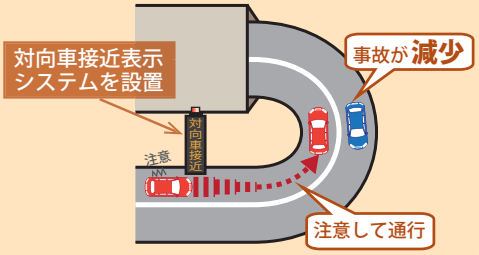
対策するのはどんな所？

先の見えにくい急カーブ区間など。



どんな効果があるの？

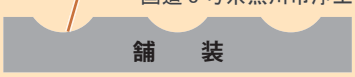
対向車の接近に注意するため、車線のはみ出しなどによる事故の危険が少なくなります。



ランブルストリップス

センターラインや外側の車線の路面カマボコ状の凹型を連続して配置することにより、その上を通過する車両に対し不快な振動や音を発生させ、車線を逸脱したことを認識させる対策です。

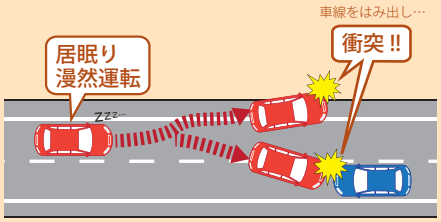
国道８号糸魚川市浄土・先ヶ鼻洞門



横から見たランブルストリップスの形状

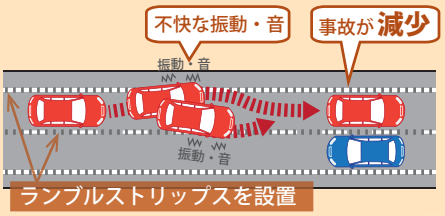
対策するのはどんな所？

居眠り運転や不注意運転の多い直線区間や車線のはみ出しが多いカーブ区間など。



どんな効果があるの？

車線のはみ出しによる事故の危険が少なくなります。



道路を改良する

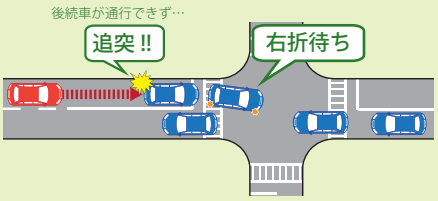
右左折専用レーン

右左折専用レーンのない交差点において、右左折車と直進車の車線を分けることにより、事故の削減を図る対策です。

国道８号柏崎市米山交差点

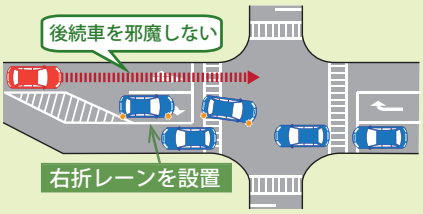
対策するのはどんな所？

右左折専用レーンがないことで追突事故などが多い交差点。



どんな効果があるの？

右左折待ちの車がいても、後続の車が邪魔されないため、事故の危険が少なくなります。



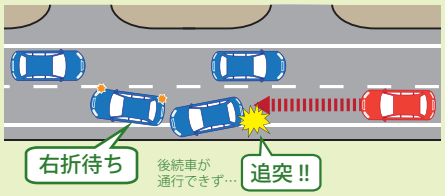
中央分離ゼブラ帯

車道の中央にゼブラ帯を設置することで、沿道の商業施設や細街路等へ入る右折車の待ちスペースを確保し、後続の車両が追突しないようにする対策です。

国道８号新潟市南区中塩俵地先

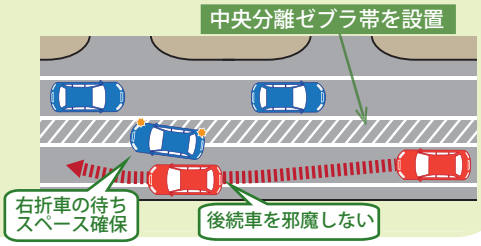
対策するのはどんな所？

交差点以外で、右折待ち車両に後続車が追突する事故が多い箇所など。



どんな効果があるの？

右折待ちの車がいても、後続の車が邪魔されないため、事故の危険が少なくなります。



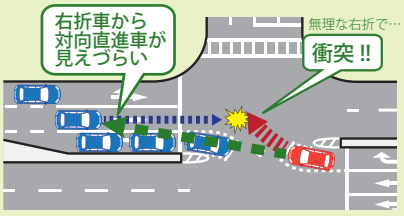
右折分離ゼブラ帯

直進車線と右折車線の間にゼブラ帯を設置し、右折する時に対向直進車を見やすくすることで、無理な右折による事故の削減を図る対策です。

国道７号胎内市星の宮交差点

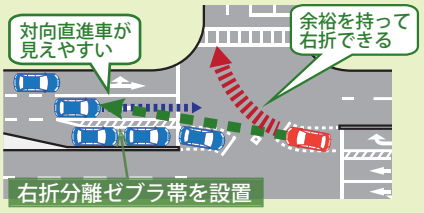
対策するのはどんな所？

右折する時に対向の直進車が見えづらいことで、右折事故が多い交差点。



どんな効果があるの？

右折する時に対向の直進車が見えやすくなり、無理に右折する車が少なくなります。



歩行者･自転車事故を防止する

自転車・歩行者道整備

歩道が無いまたは狭いことにより歩行者・自転車の事故が発生する恐れのある区間について、自転車・歩行者道の新設または拡幅を行い、歩行者・自転車の安全を守ります。

国道８号上越市名立小泊

対策するのはどんな所？

歩道が無いまたは狭いことで、歩行者・自転車事故の危険が高い箇所。

どんな効果があるの？

歩行者・自転車と車の交通が分離され、安全に通行できるようになります。

車道を通行する歩行者

横断防止柵

横断歩道以外で、道路を横断する歩行者・自転車が多い区間に、歩道と車道の境界に横断防止柵を設置することにより、事故の防止を図る対策です。

国道８号糸魚川市中宿

対策するのはどんな所？

横断歩道以外で、歩行者・自転車の無理な道路横断の多い箇所。

どんな効果があるの？

歩行者・自転車の無理な道路横断を防ぐため、車両との衝突事故の危険が少なくなります。

無理な横断をする歩行者

横断歩道・交差点カラー化

横断歩道や交差点に色を付けることで、ドライバーに交差点通過時の注意を促し、歩行者・自転車の存在や事故の危険を認識させる対策です。

国道８号新潟市南区白根地先

対策するのはどんな所？

交差点を横断する歩行者・自転車に関わる事故が多く発生している交差点など。

どんな効果があるの？

ドライバーが注意して通行するため、確認不足などによる事故の危険が少なくなります。

横断する自転車と車両の衝突の危険